

# 後半温存した体力爆発、2位に14秒差

# 木島 太差で快勝



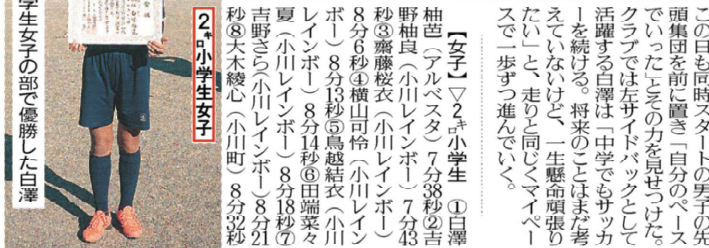
**第31回小川和紙マラソン大会(後援・読売新聞社)**  
たまま吉、朝知新聞社ほか、協力・読売センター小川ほか。が昨年12月10日、小川小及び周辺コースで行われた。県内外から約1000人がエントリーした中、**小川和紙マラソン大会** 朝知新聞社後援  
小学生男子の部ではサッカークラブに所属する木島啓太(FCアルベスタ小川、6年)が7分13秒で優勝した。ペース配分を考えた頭腦的な走りで初頂点を極めた。2時小学生女子の部も同じクラブの白澤柚芭(FCアルベスタ小川、6年)が制した。

**【男子】**▽2小学生 ①木島啓太(アルベスタ)7分13秒②大野蒼羽(テルベスタ)7分27秒③吉野そら(小川レインポ)7分34秒④大石結人(テルベスタ)7分35秒⑤岡部稜平(小川レインポ)7分35秒⑥伊藤烈(東松山)7分35秒⑦清水陽介(小川レインポ)7分39秒⑧伊藤海翔(テルベスタ)7分44秒

**両手を突き上げ**  
背番号2のユニホームで、木島が両手を突き上げて、ゴールテープを切った。2時小学生男子の部では7分13秒のタイムは、2位の14秒差をつける快走劇だった。「自分のペースでいけば大丈夫」と温存した体力を、残り700mで爆発トップの座を奪い返し、差を広げて走り切った。小学1年時に入団したFCアルベスタ小川では選手として活躍。この日8位に入ったチームメイトの伊藤海翔(6年)が「体が強くてヘディングも



**海外で活躍する**  
将来の夢は、クラブのOBで現在はクロアチアのディナモ・ザグレブに所属するMF金子拓郎のように「海外で活躍する」と。そのために「中学、高校でもサッカー部に入って自分自身をレベルアップさせていきたい」と自慢の走力も武器に、今後を見据えた。



**白澤 狙って掴んだ優勝**  
○2小学生女子の部は、木島のチームメイトの白澤が制した。7分38秒の5位には14秒差をつけ、7位だった昨年と同じくこの日の出場で「狙っていた」という優勝を飾って分めた。「走る練習はしていない」という白澤だが、学校の持久走大会では、年時からすべて1位という実力の持ち主。この日も同チームの男子の先頭集団を前に置き、「自分のペースでいったよその力を見せつけた。クラブでは左サイドバックとして活躍する白澤は「中学でもサッカー」を続ける。将来のことはまだ考えていないけど、一生懸命頑張りたい」と、走りと同じく「マイペースで、一歩ずつ進んでい



スタートを切るランナー

**ポーンコース 全額返金保証**  
【初めての方限定・一世帯一回限り】  
ポーンコース(毎月または毎月のお祝い)のご注文のみに、商品到着後30日以内にお申し込みください。返金保証はご注文日より30日以内にお申し込みください。返金保証はご注文日より30日以内にお申し込みください。

「美爽煌茶」 3.5g×30包 (約1ヵ月分)  
通常価格 4,320円(税込)

ポーンコース初回特別価格  
**3,240円(税込)**

送料 2袋以上のお求めで **送料無料!**

0120-328-328  
0120-201-061 (24時間受付)  
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 (株)フレイジュ「さいたま朝知」係



**5年 飲んで、5年 スッキリ生活!**  
初めて「美爽煌茶」を飲んだ翌日、びっくり! 「こんなに溜めてたの!?」って。もう5年も愛飲してますが、体感が薄れず5年経った今でも毎朝スッキリです!

愛知県 堂前利忠さん(76歳) 悦子さん(76歳)

**クチコミで話題!**  
スッキリさせたい! 今日から「ドッサリスッキリ!」

「毎朝お父さん、今日どう?」って聞くと、「ちよびつ」って。それがつらくて、愛知県在住の堂前利忠さん(76歳)は、出ないことに悩み、悦子さん(76歳)はその姿に心を痛めていた。そんな時、悦子さんが見つけたのが、「美爽煌茶」だった。「お父さん、出してみた」「おい、いいってゴクゴク飲んでくれたね」

と悦子さんも「ドッサリスッキリ!」と、堂前さんが飲んでいる「美爽煌茶」は、アジアで千年以上の歴史を持つドッサリアザリ野菓を使った自然派健康茶。ローズヒップ、カワラナ、タイム、ギムネマなど、体にうれしい自然素材もたっぷり。あなたも「美爽煌茶」で毎朝ドッサリ体験してみませんか?